

「 岐阜県発日本一、世界一 ~ 12月 ~ 」

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成19年度 後期日本卓球リーグ大阪大会	第2位	H19.12.9	十六銀行 田勢美貴江 潮崎由香 西飯由香 朱夢軍		リーグ戦5期連続準優勝の十六銀行は、予選リーグを6勝1敗の2位で通過し、決勝は現在5連覇中の日本生命との宿命の対決となった。第1シングルスでエースの田勢が李に接戦の末2 - 3で敗れると、続く第2シングルス・ダブルスと0 - 3のスコアで連敗し、6期連続の準優勝となった。 (大阪府大阪市:大阪中央体育館)
第35回 全日本空手道選手権大会	第1位	H19.12.9	松久 功 (株式会社エヌケーシー)	岐南工高卒	男子組手の部で3年連続2位と優勝にあと一步の松久は、初戦から積極的な試合運びで相手を寄せ付けず、準決勝ではインカレ覇者の久下(近畿大4年)を9 - 1で退けて、悲願の優勝にあと一勝と迫った。序盤から立て続けに技を決めた松久は、実力者の志水(日本空手協会)に8 - 0と完勝し、悲願の初優勝を遂げた。 (東京都千代田区:日本武道館)
第68回 全日本女子ホッケー選手権大会	第1位	H19.12.9	ソニー宮 BRAVIA Ladies		ソニー宮と東海学院大は予選Bプールで1位をかけて戦い、堅守のソニー宮が2 - 0で勝利した。決勝は4年連続で南都銀行との戦いとなった。前半は両チーム堅守で譲らず、後半残り5分ペナルティコーナーからのプレイでFW加藤がゴールを奪い1 - 0とし勝利、2年連続10度目の優勝を飾った。ソニー宮はゴールキーパー寺園の好守もあって、全試合無失点で優勝に花を添えた。東海学院大は3位決定戦で山梨学院大を1 - 0で下し、インカレの雪辱を果たした。 (岐阜県各務原市:岐阜県グリーンスタジアム)
	第3位		東海学院大学		
第60回 全日本フェンシング選手権大会 (男子サーブル・女子サーブル)	第2位	H19.12.16	長良 将司 (岐阜クラブ)	羽島北高卒 大垣南高職員	準決勝で岡野(警視庁)を15 - 9で下した長良は、決勝で2年連続小川(群馬クラブ)と対戦。1点を争う好試合であったが13 - 15で惜敗して、2年連続の2位となった。準決勝で中村(北関東総合警備保障)を15 - 10で下した中山は、決勝で6連覇中の久枝(大阪市信用金庫)に挑んだ。あと、一步まで迫ったが13 - 15で惜敗し、3年連続の2位となった。 (大分県日田市:日田市総合体育館)
			中山 セイラ (大垣共立銀行)	朝日大卒	

その2

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成19年度 日本卓球リーグプレーオフ JTTLファイナル4 2007	第2位	H19.12.23	十六銀行 田勢美貴江 潮崎由香 西飯由香 朱夢軍		本大会は今年から始まった卓球の日本リーグ年間王者を決めるプレーオフ大会。前後期ともにリーグ戦2位の十六銀行は、準決勝で中国電力に3 - 0でストレート勝ちし、今季対戦成績6連敗中の日本生命に挑んだ。第1シングルの田勢は金沢に積極的に仕掛けるもかわされ0 - 3で敗れた。第2シングルの西飯は季から1ゲームを奪ったものの強打に屈し1 - 3で敗れた。ダブルスの潮崎・田勢序盤は好勝負を繰り広げたが相手に主導権を奪われて0 - 3で敗れ、2位となった。 (埼玉県所沢市:所沢市民体育館)